

## The Backers Foundation and AIT residence programme (BAR) 展覧会開催のお知らせ The BAR vol. 5 「Rounds – めぐりめぐる」

インドネシアからのアーティスト、シャギニ・ラトナウランとデュート・ハルドーノ新作展

会期：2011年5月28日（土） - 6月11日（土） 会場：hiromiyoshii roppongi



[図版 1]



[図版 2]

- オーナー型経営者がメンバーの「バックーズ・ファンデーション」とNPO法人AITによる、ビジネスとアートの専門家が展開するアーティスト・イン・レジデンス・プログラム。
- 記念すべき5年目は、インドネシアから気鋭のアーティスト2名とキュレーター1名が来日。
- メンバーのオフィスがアーティストの制作スタジオに！制作から展覧会づくりまでを「バックアップ」。

この度、バックーズ・ファンデーションと、NPO法人アーツイニシアティヴトウキョウ[AIT/エイト]は、5月28日（土）から6月11日（土）まで、The BAR vol.5 「Rounds – めぐりめぐる」をhiromiyoshii roppongiにて開催いたします。

3月に発生した東北関東大震災は、多くの海外のアーティストにとって、滞在をあきらめざるを得ない大きな出来事となりました。そのようななか、ラトナウランとハルドーノは、来日を強く希望し、4月初旬より滞在を開始しました。2人からは、こうした不安定な状況においてもなお、東京の魅力を積極的に発見し、制作の動機としていく、表現者としての絶え間ない探求心と活力が伺えます。

2002年に若干21歳で、アジアのアーティストを紹介する展覧会「アンダー・コンストラクション アジア美術の新世代展」（東京オペラシティアートギャラリー／国際交流基金フォーラム）に参加したシャギニ・ラトナウランは、インドネシアで注目を浴びるアーティストの一人です。また、ファッション・ブランドのディレクターとしても、精力的に活動をしています。本展の新作では、「夢と現実」をテーマに、滞在中に見つけた古い家具やタイプライター、クッションなどを使用し、インスタレーションや写真、ドローイングを展示します。

美術大学在学中より、インドネシアの数々のアート・スペースにて制作発表を行ってきた新進気鋭のアーティスト、デュート・ハルドーノは、サウンド・インスタレーションやパフォーマンス、ドローイング、コラージュなどを制作しています。特に、巻き取りの変化で楽曲の速度を変えたり、予測不能な音のブレやズレが生じるカセットテープをはじめ、レコードや古い楽器などの素材を積極的に作品に取り入れます。本展では、東京に溢れる音や、話し声などを無作為に録音したサウンド・インスタレーションをはじめ、滞在中に収集した物を貼り合わせたコラージュ作品を発表します。また、オープニングでは、東京で見つけた中古のシンセサイザーを使用し、パフォーマンスを行います。

大小の無数の島々により構成され、さまざまな歴史、宗教、文化、思考などが混在するインドネシアは、アート・シーンにおいても、豊かな表現が生まれています。新進気鋭のインドネシアのアーティストの力作を、ぜひご期待ください。

つきましては、本展を是非ご紹介いただきたく、周知、告知活動にご協力賜りますようお願い申し上げます。

### 展覧会概要

The BAR vol.5 「Rounds – めぐりめぐる」

インドネシアからのアーティスト、シャギニ・ラトナウランとデュート・ハルドーノ新作展

会期： 2011年5月28日（土） - 6月11日（土） 13：00 - 19：00 （日曜日・月曜日は休廊）＊入場無料

会場： hiromiyoshii roppongi 東京都港区六本木 5-9-20 TEL：03-5772-5233

主催： NPO法人アーツイニシアティヴトウキョウ [AIT/エイト]

共催： バックーズ・ファンデーション

協力： hiromiyoshii roppongi

レセプション： 5月28日（土）18：00 - 20：00 ＊19:00～アーティストによるパフォーマンス

### 展覧会および取材・広報用写真貸し出しに関するお問い合わせ

NPO法人アーツイニシアティヴトウキョウ[AIT/エイト] 担当：堀内 Tel: 03-5489-7277 email: office@a-i-t.net

## 作家紹介



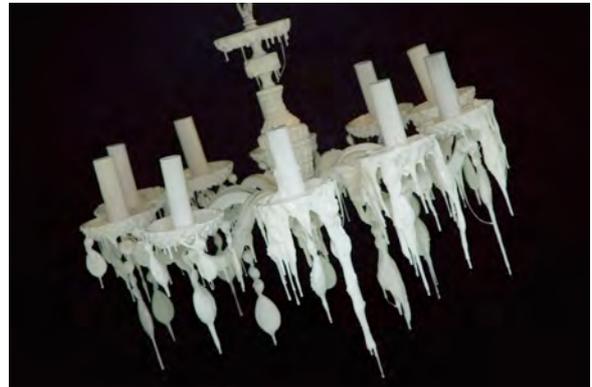
■ シャギニ・ラトナウラン / Syagini Ratnawulan (1979年インドネシア生まれ、バンドゥン在住)

- ・ 2006 ゴールドスミス・カレッジ (ロンドン) MAカルチュラル・スタディーズ修了
- ・ 2009 「Cross/Piece」 カッパ・ギャラリー (ジャカルタ)
- ・ 2009 「バンドゥン・アート・ナウ」 ナショナル・ギャラリー (ジャカルタ)
- ・ 2010 個展「情事 第1章: ダイニングルーム/罪の無い嘘」 ヴィヴィ・イップ・アートルーム(ジャカルタ)

インスタレーションや写真、ドローイングなどを制作している。溶け落ちそうなシャンデリアが飾られた部屋に、汚れ無き白色を基調としたダイニング・テーブル、コーヒー・カップ、ティー・スプーンを並べたインスタレーションをはじめ、愛と不実さなど、相反する心理を表現している。また、写真作品『L.S.』では、レオナルド・ダ・ヴィンチの『最後の晩餐 (The Last Supper)』をモチーフに、作品と同じ位置に並ぶ人物像を白いペールで包み、秘めたる歴史や時間を表現している。2002年には、国際交流基金設立30周年を記念し、東京オペラシティアートギャラリーと国際交流基金フォーラムにて開催された「アンダー・コンストラクション アジア美術の新世代」展に参加。



[図版 3]



[図版 4]



[図版 5]

■ シャギニ・ラトナウラン

[図版1] 「L.S.」 / アルミの上にプリント / 部分 / 2010年 / (展覧会出品作品)

[図版3] 「永遠に側にいて(詳細)」 / セラミック / サイズ可変 / 2009年 (参考作品)

[図版4] 「不貞」 / 自動車塗料、シリコンゴム、ガラス、銅 / 145 x 14 cm / 2009年 (参考作品)

[図版5] 「L.S.」 / アルミの上にプリント / 200 x 650 cm / 2010年 / (展覧会出品作品)



■ デュート・ハルドーノ / Duto Hardono (1985年インドネシア生まれ、バンドゥン在住)

- ・ 2008 バンドゥン工科大学 ファインアート・デザイン学科卒業 (奨学金取得)
- ・ 2009 「バンドゥン・アート・ナウ」 ギャラリー・ナショナル (ジャカルタ)
- ・ 2010 個展 「グッド・ラブ、バッド・ジョーク」 セルサル・スナリオ・アート・スペース (バンドゥン)
- ・ 2010 「ペルサカパン・マッサ」 ナショナル・ギャラリー (ジャカルタ)

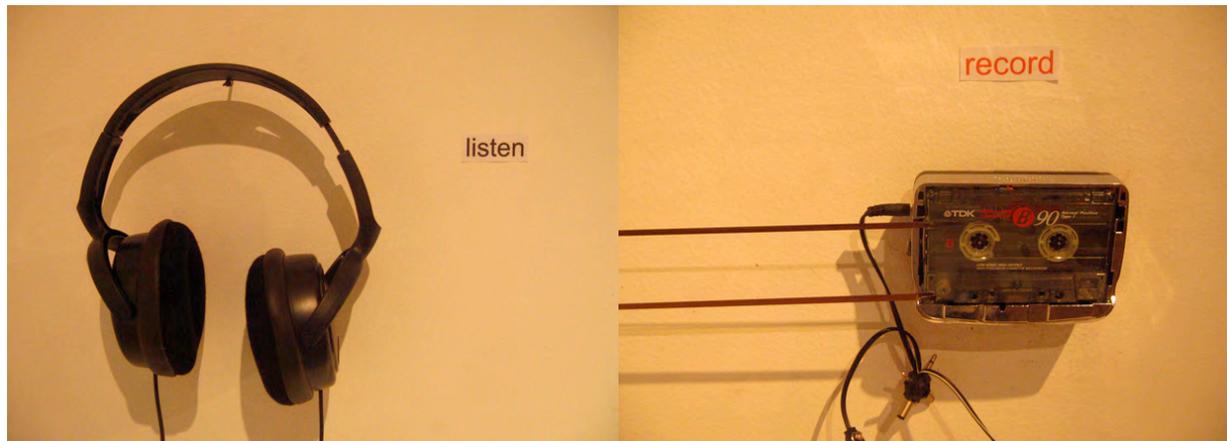
サウンド・インスタレーションやドローイング、コラージュなどを主に制作している。タンバリンに緻密なドローイングを施した彫刻や、カセットテープを使用したインスタレーションなど、音を想起させるものと、繊細な手作業が融合した作品やパフォーマンスを手がける。『サボテンが演奏する、ジョン・ケージの4分33秒を、テープの繰り返し再生で上演する方法』(2010年)では、前衛芸術運動のフルクサスのメンバーであったジョン・ケージが作曲した無音の楽曲『4分33秒』(1952年)を引用した作品を制作。サボテンが再現する歴史的な楽曲を、カセットテープを通して繰り返し聴くという、ユーモア溢れるインスタレーションを発表した。



[図版 6]



[図版 7]



[図版 8]

■デュート・ハルドーノ

[図版2] 「訪問」 / 水彩絵具、墨汁、生皮のタンバリン / サイズ可変 / 2008年 / (参考作品)

[図版6] 「家族の集い」 / インスタレーションとパフォーマンス / サイズ可変 / 2008年 / (参考作品)

[図版7] 「訪問」 / 水彩絵具、墨汁、生皮のタンバリン / サイズ可変 / 2008年 / (参考作品)

[図版8] 「サボテンが演奏する、ジョン・ケージの4分33秒を、テープの繰り返し再生で上演する方法」 / カセットテープ、ポータブル・カセットレコーダー、プレーヤー、ヘッドホン、サボテン / サイズ可変 / 2009年 / (部分/参考作品)

※ アーティスト 2名は 6月30日まで、キュレーターは 6月3日より 3週間東京に滞在します。取材をご希望の際はお問い合わせください。

**バックアーズ・ファンデーション**とは：「バックアップしていく人たち」という意味で、オーナー型経営者が集まり、社会貢献事業を行なう経営者有志の任意団体です。1994年に社団法人日本動物福祉協会を助成することからスタートし、現在は、各団体に支援金を送るだけでなく、実際に会員たちが現場へ足を運び、「明るく楽しく」を合言葉に参加する活動を行っています。現在は、55人の会員が在籍し、そのなかで複数の委員会を作り、メンバー自らが参加型で手作りの活動を行なっています。本プログラムのほか、2005年からは「バックアーズ寺子屋」という子どもたちを対象にした塾の運営もを行っています。The BARシリーズでは、これまでに、インド、ブラジル、アフガニスタン、シンガポール、モロッコなどの国々から、8名のアーティストと4名のキュレーターを招聘し、2012年には、全招聘アーティスト10名によるグループ展を予定しています。

**AIT(Arts Initiative Tokyo)**とは：2002年5月に東京都より認証をうけたNPO法人で、東京を中心としたさまざまな場所に現代の視覚芸術にアクセスするための「プラットフォーム」の創出をめざして設立されました。教育プログラム「MAD(Making Art Different)」、国内外のアーティストやキュレーターを対象としたレジデンス・プログラム、アーティストやキュレーターによるトーク、シンポジウム、ワークショップ、展覧会などのイベントを行っています。www.a-i-t.net